

バイコーン

VS

白衣の
天使

マスターが撤退する時間を
稼ぐべく囃子として戦場に一人残った
『小陸軍省』の、孤独な耐久戦が今幕を
開ける





でも…
婦長!!

構いません
私を置いての
撤退を司令官

疲弊した我が
隊ではこの狂馬を
仕留めることは
難しい

一度撤退し
体制を整える
必要があります
幸いにも…

この異常馬は
私に並々ならぬ
執着を抱いている



何より
人間の雌への
異常な興奮状態
この馬…

雑菌の温床…
不衛生…不愉快
極まりない
ですが

この動物が
執着したのが

消毒液を
持っている
私で良かった

新種の
ウイルスに罹患
している可能性が
あります

人間に感染する
ものなら危険
極まりない

足止めがてら
その調査を進めて
おきますので
ご遠慮なく
いいですね?



…やっとな
撤退してくれ
ましたか…

では…

危なかった…
直舐めは
一層…ッ
声が出る…ッ

こんな声…あの人や
マッシュさんに聴かせる
わけには…ッ
しかし…おかしい…

不快感…嫌悪すべき
動物の雑菌まみれの
不衛生な舌…唾液…
その筈が…

こんな声…
出る筈が…ッ



おそらく私はあの時
既にウイルスに罹患し
発症していたので
しょう
(ナイチンゲールの
アフターレポートより)

でなければ
不衛生極まりない
動物の舌が局部に
触れて湧きだす筈の
感情が

不快感でない筈が
ありません

動悸・酩酊感・発汗・発熱…
そして発情 不快感が快感に…
異常な興奮に塗り替えらる
未知の症状に戸惑いながら

体力が尽き
思うように体が
動かない私は

為す術なく
馬の舌で下半身を
舐められ続けました

私の陰部を
舐めていたと
舌が背中へと
移動し

代わりに
局部へと
伸びてきた

馬の
陰茎を
見た瞬間

私は
……

思わず跳ね起きて
馬の陰茎の滅菌処置を
開始していました

馬の性器に
こびりついた
恥垢を目にした
瞬間……

さすがにこの
性器の不潔は
許容できません

払拭！

消毒！

殺菌！

交合において
性器の衛生の保持は
何においても最優先
される事項……！

動かなかった筈の
体が突然軽く
なりました
ことですね

手持ちの消毒液や
ガゼ等諸々を
使って馬の性器を
清潔に滅菌して
いく過程で……

清潔に目覚めたのか
大人しくその性器を
私に委ねている馬の
様子には私は……

これをこのまま
搾精し発散して
やれば

大人しく
させることが
出来るやもと
考えました

人の女を抱きたいの
なら人間の衛生観念を
理解しなさい

手持ちの医療用具で
徹底除菌に成功した
ペニスですから動物の

そんなものに
受け入れないに
越したことはない
ありません

陰茎部分の
摩擦……
陰囊部分の
按摩……

できうる限りの
搾精処置を施し
ました……かし

長すぎる陰茎と
大きすぎる陰囊を
刺激するには腕の
大きな動きが必要と
いうに関わらず

体は不思議と
再び動かなくなり
：そんな時

司令官の部屋を
清掃していた時
に見つけた書物に
あった

『パイズリ』や
『ソープ』などと
いった知識には
助けられました

手が動かなくなれば
胸で上半身の力が
入らなくなれば
下半身で動かして

体全体を使い
精液を幾度となく
吐き出させ続け
ました

その
結果



馬の性欲は
微塵も
おさまらず

嘘……

ぐぐ

ぞ

ずし

こんな事
が……

ははは

ああまさか大量に
浴び一部吸入して
しまったこの馬の
精液に

それどころか
勃起したペニスの硬直も
陰囊の精子製造活動も

治まるどころか
一層の硬さ・重さ
力強い脈動を
誇っていました

短期間の内に
脳までウイルスが
まわってしまった
というのか

私の方は逆に
もう手足に力が
入らず……

劣情は
膨れ上がり
留まる所を
知らず

麻薬・媚薬が如き
効果があった
などという

オカルト染みた
非科学的な事は
ありませんが……

そして

がががが

びびびび





跡(書き淀んだ

フルフル

あくまで…あくまで
生存を至上の最優先と
したまでのこと……

はっ……

はっ……

オシ

正確な症状の記録は
あのウイルスの解明は
今後の医学の発展に
必要不可欠ですね

未知のウイルスは
私の脳と体を発情状態
としか表せない状態に
陥らせました

異常な興奮状態に
陥った私は自分から
臀部を突き出し……
馬との交尾の体勢を
取りました

手などを使った搾精は
もう不可能と諦め
大人しく犯される道を
選ぶことも……

膣内が疼いて仕方ない
からと……十分に滅菌した
とはいえ馬の性器での
性欲発散を良しと
することも……

あの時の私は
平時では
考えられない
思考状態でした

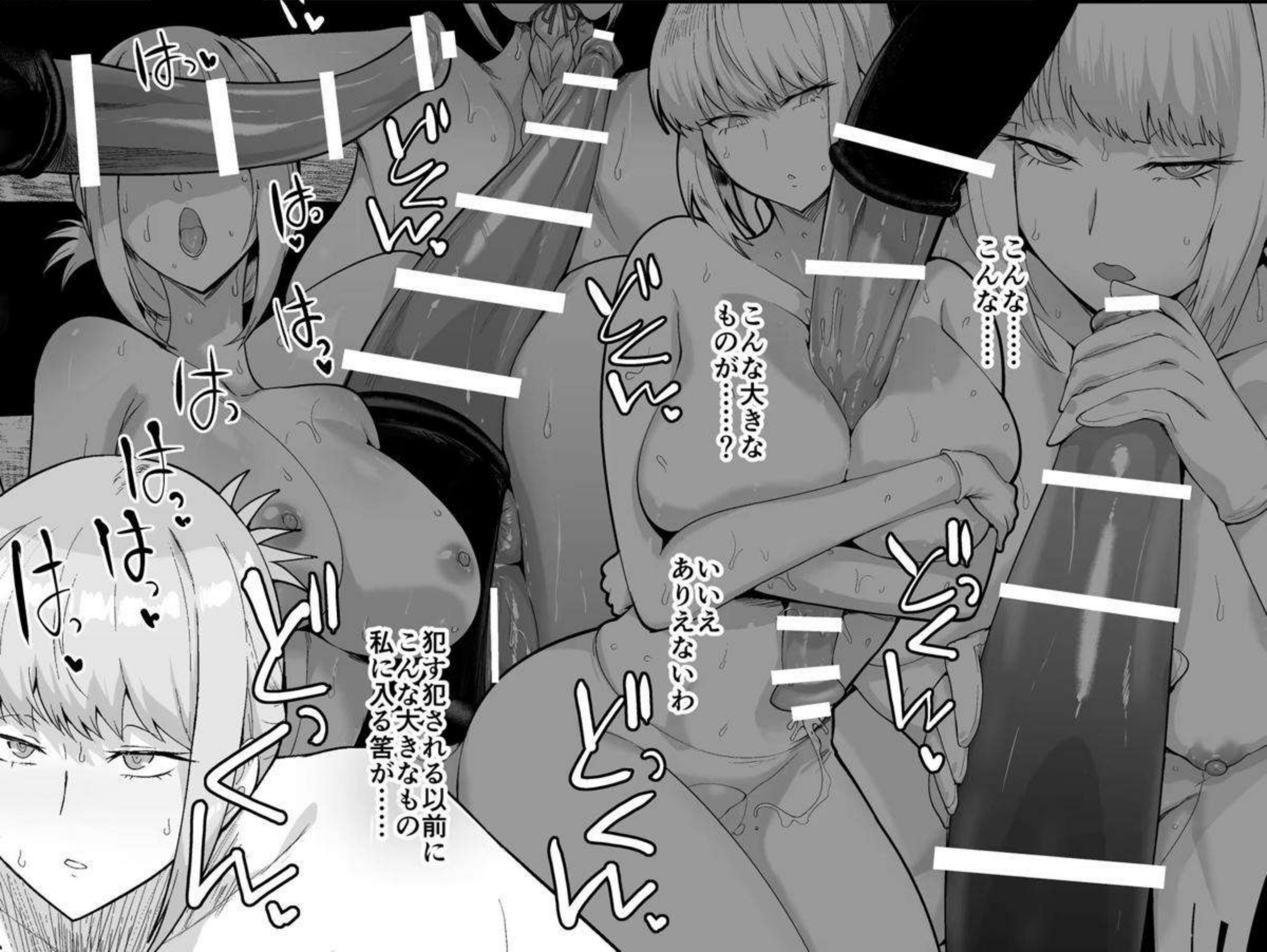
そして
それは肉体の
ほうも同様で

司令官たちの帰還を
信じているというだけ
……そう 斃れることは
許されない

再びこの馬に奇襲を……
先の敗北の二の舞にさせる
わけにもいきません……
自由にさせずこの場に
引き付けておく必要も
大いに……

それ以上でも以下
でも……特に何か
他意などは……

特には
……







[illegible]

—カ...

平時の私では：
いえ普通の人間は
到底有り得ない
ことです

私の体は馬の大きな陰茎をすんなり咥え込みました。

馬のペニスを
挿入され平然として
いられる人間は
いません

いくら超長時間の
舌での愛撫で膣が
多量の潤滑液を分泌
していたとはいえ

けっ…
軽傷♡

……軽傷？
こんな大きな
モノを咥え込んで？

それ
どこか…

ましてや快感を
感じるなど

ですのやはり
これ以降の記憶は
幻覚……

新種の
ウイルス感染による
脳の炎症が引き起こした

熱せん盲が見せたもの
であつたと考えるのが
妥当です。妥当ですが

あまりに鮮明な
記憶であり
事実であつた場合
未知の症例と
なります

今後の医学の
発展の一助に
なればと思い

記しておく
ものであります

私は――

動かれでも…
しようもの
ならあ……ッ♡

こんなもの
動かれでも
したら…

ダメよ…
大きすぎる…
凄すぎる……



おおおおお

おーおーおーおー

おおおお

カクカクカク
グシャアアアア

私は馬のペニスを
挿れ
絶頂に達しました。

馬はその巨体を
私に覆い被せ その巨根を
容赦なく私の胎に打ちつけ
ました

軽傷
♡♡

ぜ：
絶頂♡

♡絶頂ッ

そのピストン運動は
あまりに激しいもので

嘘っ…
♡♡ おおッ

イッた…？
…私

私の体は
一突きごとに
乳房も尻肉も
大きく波打ち

私の口からは
私の意思とは関係なく
押し出されるように
大きな嬌声が否応なく
排出され

こんな馬の
ペニス…
こんな乱暴な
交合…交尾で…

ほい！
エクスタシーに
達し…オーガズムを
迎えたというの？

行為の尋常でない
激しさを私に
理解させました

が



ですのに
私はその衝撃に
耐え...それどころか

そのような
馬との性行為に
性的快楽を覚え

そのあまりに
激しいピストンで
とめどない絶頂を
迎えました

人間では...人体では
有り得ない事例です
やはり幻覚の疑いが
強いと思われます



は...は...は...

た...た...た...

ぽんっ

ガクガクガクガク

おっおっ

こ…声が出るッ
出てしまうッ

おっおっ

出されるッ…
押し出される
ペニスに声も
オーガズムもッ

おっおっ

私…気を確か
に…っ

ばっばっばっばっばっ

司令官たちが
戻ってきた時
こんな情けない
声を聴かせる
つもり?

クリミアの地獄に
比べればこの程度が
何だと言うのか

おっおっ

おっおっ

この程度の
ペニスが…ッ
この程度の
ピストン…

おっおっ

耐える
ことなど…ッ
おっおっ

そもそもこの後…
再合流した時の
映像を見れば
明らかだが

彼女の語る
『未知のウィルス』
は存在しない

ナイチンゲールは
オカルトを強く否定する…
自身がサーヴァントである
という自覚さえ時として
薄くなるバーサーカー。

回収した彼女の
肉体に残った
残留魔力反応を
解析したところ

このバイコーンの
体液には魅了の
効果…女性を
させる魔力的
作用がある
ことがわかった。

くっくく

がくがく

がくがく

がくがく

耐え難いッ♡
耐えがたいイッ
どうしてでしょうッ
イクっイクうっ♡

脳が痺れる
身体が勝手に
跳ねるッ

舌でじつくり
湿り狂わされた
私の硬い部分

掘られてるっ
届いてるっ
長いニスに
耕されてるッ

女の悦び
ほじくり
出されっ

この私が...
柔らかいッ
女にされるッ
イクっ♡

ああいけない
チンポが一層
膨らんで
これは...

射精してしまっ
このままでは
膣内に射精され
しまっ不衛生ッ
待ちなさい
イクっ

いいけないっ♡
イクっイクイクイク
膣内射精で
イクっイクイク

つまり：
彼女には
辿り着け
ない
結論だ

バイコーンとの
交尾は幻覚では
なく事実

馬との激しい交尾に
耐えられたのは
彼女が人ではなく
サーヴァントだから
であり

一人残った彼女を
案じたマスターが
枯渇寸前の魔力を
送り続けて身体強化も
していたからで

馬のペニスで
快楽を得られたのは
耐魔力の低い彼女の
零基に

バイコーンの
媚薬催淫作用が
浸透しきった
結果



シンブルに馬のチンポが
気持ちよくって
イキまくってしまった
だけということだね

(ダヴィンチちゃん
によるレポートへの
注釈)



交合の果て…
馬は事前にあれだけ
私が手を尽くし

幾度となく
射精させたとは
思えないほど



驚くべき量の
精液を私の胎に
吐精しました。

その筈
です。

びしょ
どろどろ
どろどろ

か
か

回収された私が
受けた医療記録を
後日拝見しました

私の膣内に馬の精液の残存は一切確認されたね。ませんでしね。

この記録もまた『すべてはウィルスによる幻覚であった』と裏付けています。

しかし
不可思議な点
があります。

この胎に
注ぎ込まれた
熱さを：
重さを：

幻覚というには
朦朧とした脳に
鮮明に

未知の快楽を
覚えている
ことです。

私は生涯
独身を貫き
子供はおらず…

それこそ私の
衛生観念で婚前に
膣内射精を許すなど
有り得ない話。

私は知らない
筈なのですが

幻覚にしては
あまりにも…

はたして人は一切
知り得ない情報を夢に
見て…脳が知り得ない
感覚を夢で感じ得る
のでしょうか

子宮をのたうつ
精子の蠢き

なみなみと
注がれて
胎を膨らませる
精液の重み

下腹部から
じんわり広がり
指の先…胸の先端…
膣の先…胸の先端…
膣内射精の熱

脳にぼんやりと…
しかしたしかに
刻まれた
あの未知の感覚が

なかったもの
とは…とても



終わっ...
た?

うっ

う...
う...
う...?

....何せ
その熱は



あの日私を
何度も何度も
執拗に焼いたの
だから



あああああ
あああ
あああ

ぽん
ぽん
ぽん

ぽん
ぽん

このウマに
いい加減に
……っ♡

いい加減に
ないさっ♡

あっ♡
軽傷♡

ダメ……
はこれ以上♡

うっ♡
うっ♡
軽傷♡

駄目よ♡
……っ♡

本当にっ

うう♡駄目
駄目駄目駄目
……っ♡

あの馬の
性欲は底なし……
睾丸の精液製造量と
速度は規格外でした

一度の交尾
一度の膣内射精で
満足する筈もなく

その後も
私の膣に肉棒を
突き立て

私の子宮に
ザーメンを……
熱と快楽を注ぎ
続けたのです。

何度も……
何度も……

何度も……

何度も……

何度も……

ぽんぽん
ぽんぽん
ぽんぽん

膣内射精された
回数には正確に
覚えていません

司令官たちが
戻って来るまで
十は軽く超えて
います

回数のみならず
一度の射精量も
衰えを知らず
…それを何度
も注がれ
続けた私の腹は

妊婦のよう
に膨れ上
がって
いました

やはりおか
しい…妊
娠の経験
がない
私に何故
…臨
月のよう
に膨れた
腹が揺
れて

その重みに
身体が
振り回
される
感覚…
記憶が…?

やはり現
実に…
いえ、そ
も人体
が…
そんな
射精量
に耐え
得る筈
がない
有り得
ません
ね

そう…有
り得ざ
る事
です…
この私
が
まるで…

妊娠した
か…の
ような胎
に…
引つ張
られ…
ても
したよ
うに…

いっおおおお

重症ツ

じゅ♡
じゅうしょお♡
こんなこと♡

けっ…けだもの♡
太くて長くて♡
バキバキなだけ♡
うツ♡馬チンポで

絶頂っ♡

この私が♡
いいけないの♡

イクっ♡

どうかご勘弁♡
もうご勘弁を♡
ミスター……♡

このままでは…
わた♡私い♡

はるるる

まるで雌馬…
孕まされた♡
番いであるかの♡
ように

あの馬を♡
讚える言葉を♡
吐き始めて♡
いたなど……♡

いけません！♡
私は倒れない♡
倒れません♡
倒れません♡
ダメよ♡ダメ♡
ダメ♡



理不尽
馬チンポっ♡♡♡
ツツツ♡♡♡

倒れてはダメなのに♡
崩れるっ♡♡ 墮ちるっ♡♡

挿入前の執拗な愛撫
交尾がはじまってからの
無限にも想える執拗な
ピストン...腔内射精...

動物の言葉など
理解できるはずも
ないのに...私

察しました。

肉体を長い長い
時間馬チンポで
犯され続け限界を
迎えた私は

あろうことか
思わず口に出して
言ってしまった
のです

脳を新種の
発情ウイルスに
侵され

こいつツツ♡ 私を孕ませようと
している...♡♡♡ 馬の分際で人間を自分の
オンナ...メスにしようと
している...♡♡♡

私が墮ちるまで
おまんこをほじくり
続けるつもり♡♡♡
やめてくれない
♪♡♡



私は天使でもない…
女神でもない…
あなたのメスッ♡♡

ですの
少し休ませ…
もう注がないでえ♡♡♡

わかりました…
如何様にも…
あなたのオナでも♡♡
結構っつって頂いても♡



見なさい
この腹をッ…
あなたに注がれ続けて
こんなにパンパンで♡

本当に孕んで
しまったよう…

これ以上の
マーキングが
必要ですかッ

見るからに
明らかでしょう♡
ミスターあなたの
私♡

ワイフ♡♡ワイフ
だ♡♡あ♡♡
♡♡♡

と

だろ

だろ



婦長……？

えっ……

司令官……？

あれも有り得ざる事
…現実ではなかったの
でしようね

馬にペニスを挿入されて
ひんひん喘いで……
馬を『ミスター♥』などと
呼び…メス猫が如き声で
媚びながら……

『私は馬のワイフに
なりました』と高らかに
宣言しているところを

マスター
あの人に
目撃された
などという
惨状も



司令官の部屋の
書物に会った
『寝取られ』：
でしたか

まるで司令官を
『前の男』とでも認識し
奪った女を鳴かせて
見せつけるかのような

ここにきて
あの日一番の
硬さを見せた
馬のペニスで

あの日一番の
勢いを見せた
ピストンで
突かれ……

バランスボールの
ように膨らんだ私の
腹がポヨンポヨンと
揺れる醜態を皆に
見られて……

快感と羞恥心の
サンドイッチアクメで
私もあの日それまで
一番の下品な絶頂を
見せましたが

ぽんぽんぽんぽん
ぽんぽんぽんぽん
ぽんぽんぽんぽん
ぽんぽんぽんぽん

116#66#6651
165#6541
考ろ
何か?何か...



頭隠して乳尻隠さずの
無様膣内射精大アクメを
晒したなんていうのも

きつと
夢だったの
でしようね。





その後に見せた筈の
更なる醜態も――

ふ……ッ

おろろろ……

ふちよ……

ひ……
か……

か……

か……

おッ♡

…見苦しい所を
お見せしましたね

増援…協力者の
助力を得られた
ようで何よりです

感謝します
協力者の方…
そして司令官

現状を気に病む
必要はありません
私の命は失われ
ないのだから

は…

は…

は…

よろ…

よろ…

命ありさえあれば
私がすべて元通り
にしますので

さて救援に来て
いたが

見ての通りこの馬に
完全に拘束され離れる
事叶いません

私ごとどうぞ
攻撃を...と言って
そうするあなたでは
ないですね

えっ

で
ま
ん

幸い超長時間の交合で
この馬も打ち止めが近い
様子です 竿の硬さから
もってあと1〜2発かと

そうしたら
私から離れると
思いますので
そこで攻撃を

えっ?
待っ...

なのであと1回:
この馬が射精する
まで

うんや...

少し待っていて
貰えませんか

あの

何か?

魔力を少し補充
できたんだ…身体強化
するから何とか
振りほどけないか？

魔力？何です？
オカルトでは
疲弊した私の体力は
戻りませんよ

少しでも
体勢を低く…
…上げられないかな

いえ別にリスクを
侵さずとも…
あと一回か2回の
射精を待てば良い
だけですから…

婦長

はい

ぐちゃぐちゃ

[illegible][illegible]

魔力を少し補充
できたんだ…身体強化
するから何とか
振りほどけないか？

魔力？何です？
オカルトでは
疲弊した私の体力は
戻りませんよ

少しでも
体勢を低く…
…上げられないかな

いえ別にリスクを
侵さずとも…
あと一回か2回の
射精を待てば良い
だけですから…

婦長

はい

ぐちゃぐちゃ

魔力を少し補充
できたんだ…身体強化
するから何とか
振りほどけないか？

魔力？何です？
オカルトでは
疲弊した私の体力は
戻りませんよ

少しでも
体勢を低く…
…上げられないかな

いえ別にリスクを
侵さずとも…
あと一回か2回の
射精を待てば良い
だけですから…

婦長

はい

ぐちゃぐちゃ

魔力を少し補充
できたんだ…身体強化
するから何とか
振りほどけないか？

魔力？何です？
オカルトでは
疲弊した私の体力は
戻りませんよ

少しでも
体勢を低く…
…上げられないかな

いえ別にリスクを
侵さずとも…
あと一回か2回の
射精を待てば良い
だけですから…

婦長

はい

ぐちゃぐちゃ

しかし何かしら資源を
補充できたなら重畳です
ね貴重ですこんな場面
で使わずともよいでしょう

一刻も早く
救出しようと思
ってるんだけ
ど……

ええ
ありがとう

しかし何かしら資源を
補充できたなら重畳です
ね貴重ですこんな場面
で使わずともよいでしょう

一刻も早く
救出しようと思
ってるんだけ
ど……

ええ
ありがとう

しかし何かしら資源を
補充できたなら重畳です
ね貴重ですこんな場面
で使わずともよいでしょう

一刻も早く
救出しようと思
ってるんだけ
ど……

ええ
ありがとう

婦長はあと一発や
2発の射精さ……
それに至るまでの馬と
……その……交尾……

あまり嫌では……
ない……感じ？





あつ
違つ

いえっ!
あのっ!

違います司令官
決してそういう
意味ではな

か
あ
あ





ナイチンゲールさん!!

うわあ 婦長!!

私が『違う』と……
我に……司令官の元に
帰りそうになった
から……ッ

はっ

ぬちゅっ

せつ：接
キス：ツ
妬いてい

はーん
おーん
から……



キスというには……
もはやイラマチオっ……
喉奥が犯される……

んお呼吸液っ♡
酸素が♡唾♡
雑菌が♡に♡
：頭が更に脳に回
なるう：ッ♡
♡

こんな……人を犯す怪物馬が嫉妬する様を愛おしく感じるだなんて……失

失礼
ミスター♡
失礼しました
あなた♡

その後ナイチンゲールは『結局何が言いたいのかわからなくなってきました』

『この乱文が医学の発展の一助になれば』なんて風にこのレポートをみていてさちよつと心苦しいよね

当然このレポートに
書いてあることは
真実であり

我々が良かれと思つて口裏をあわせ
すべて『無かつたこと』
にしているわけで

妻としての
心構えが少々
足りません
でしたね♡♡

ちょっと見てらんないわよコレ!

くそっ 密着して離れない...あの馬わかって...

マシユ マルタさんバイコーンだけをなんとか狙って一撃でいける!?

やります!どこを狙いましょう:頭部は角で防がれそうで...

跳躍して上からだとな万ーバイコーンの体を貫通した場合が危険だ

一撃で仕留められない場合も 繋がったままバイコーンが暴れれば振り回される彼女には危険な状態になる

ダヴィンチちゃんそんなどうすれば...

ぶはっ♡♡はあっ♡♡ふんう

待ってて婦長今すぐ...

いやッ...!!

婦長っ...!?

人類最後のマスター

あの日の君の判断に間違いは無かったと言ってあげたいが

我々は最善を尽くしたと胸を張りたいが

私は治療のため：
この地に残り：彼と
結婚するため救援は
結構です：ッ♡

人間に発情する
病気に罹ってしまった
旦那様♡…この哀れな
馬をオ…♡

重症♡

何度ヌいても
治まらない異常な
性欲：異常な睾丸っ
異常なペニスをッ♡

医療系サーヴァント
である私の膣で徹底的に
洗浄：消毒：治療オお♡
し続けますッ♡

その為には：毎日
セックスをする為にはッ
この馬の番という形を
取るのが最も自然で♡
合理的なあ…ッ♡

ダメだ錯乱
している！

言ってる事が
無茶苦茶だよ
婦長！

私は正常
ですッ！！

オッ♡
重症♡

衛生ッ♡♡♡
性交における♡♡♡
ペニスの衛生♡♡♡
維持は…ッ♡

ペニスは何より
最優先すべき事項
でしようッ♡♡♡

令呪の切りどころや
戦況判断がもう少し

彼女はこんな
辱められ…魔獣に
犯しつくされること
はなかつたかもしれ
ない

そうペニスっ…
ペニス…っ♡
チンポお…っ♡

このウマのチンポが
最優先♡チンポは
とても尊いのです♡

思うに♡ペニスとは
鋼鉄…バキバキの
ガチガチであるべき
なのです♡

イクっ♡チンポっ♡
感じます♡かたいっ♡
ウマチンポでイクっ♡
馬チンポきもちいいっ♡

このチンポの
為なら私っ♡
何でもします♡

我が足腰の力の入る
限り♡このチンポの
幸福を導かん♡

ああミスター♡
もつとオーガズムを
感じさせて♡もつと
ピストンを速やかに♡

早くっ♡早くっ♡早くっ♡
深くっ♡深くっ♡深くっ♡
イクっ♡イクっ♡イクっ♡
早くっ♡早くっ♡早くっ♡
深くっ♡深くっ♡深くっ♡
イクっ♡イクっ♡イクっ♡
ああ♡ああ♡

令呪が
一角でも
残っていれば

バイコーンの下に
組み伏せられて
しまっていた彼女を

瞬間移動
させられたい
かもしれない

バイコーンには
魅了されきった
彼女が最後には

バイコーンと呼び
『旦那様』と我々の攻撃を
制止しての

んんんんんん
きもちいいッ♡
オチンポきもちいいッ♡
いいです♡いいモノです♡

だからッ♡許しません♡
旦那様を♡このチンポッ♡
保存♡研究♡きつと世の♡
女性の役に♡医療器具う♡

ラス1種付け懇願
のけぞりアクメを
キメたことは

無かったことには
出来ない間違いない
現実であるわけさ

待って♡♡
せめてあと5回ッ
：わかりました
3回イイン♡♡♡

イッ♡1回！
一回でいいから♡
セックス♡オーガズム♡
ウマチン♡腔内射精アクメを
希望ッ♡希望しますッ♡

もう来ます♡キマるッ♡
くるッくるくるくるッ♡
最後の極太射精注射くるッ♡
とびきりのウマザーメン♡
エクストラアクメでイグッ♡

イッ♡イッ♡イッ♡
イッ♡イッ♡イッ♡
イッ♡イッ♡イッ♡





肝に銘じておいて
くれたまえ

彼女に性根の
刻まれた魅了の
記憶は烙印の
魔力痕に……

深く



重く

熱い

今後度々
淫らな記憶が
溢れては疑い
君に聞いている
だろう

『本当に
あれは幻覚
だったのか』と

ああ、おねが
い、もう一回
……

対象動きました
来ます!!
……マター!!

あの光景を君は…
我々は忘れては
いけないよ

しっかんなさいな!!
ほら指示を!!
困ってる!!



